



治療シリーズ① t-PA治療後の急性期管理とケア

私がお伝えします



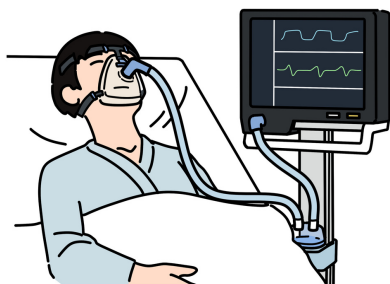
社会医療法人ペガサス 馬場記念病院
脳神経外科・副院長

魏 秀復

t-PA治療の完了は、あくまで治療の第一段階です。治療後の急性期には、合併症の予防や機能回復に向けた厳密な管理とケアが欠かせません。患者さまの安心と回復を支える重要な時間です。

急性期の集中管理

t-PA治療後は、薬の影響で**出血のリスク**が高まるため、24時間は特に注意深い観察と管理が必要です。馬場記念病院では、**集中治療室（ICU）**や**脳卒中ケアユニット（SCU）**にて、**血圧**の厳重な管理（180/105mmHg以下）や、**神経症状の変化**に対するモニタリングを行います。また、治療後の再検査（CTやMRI）で**出血の有無**を確認し、必要に応じて対処します。**合併症を未然に防ぐ**この24時間が、回復への大切な一歩となります。



早期リハビリテーションの重要性

t-PA治療後、脳へのダメージが軽減された患者さまには、できるだけ**早期のリハビリテーション**が開始されます。運動機能や言語機能など、失われた機能の回復を目指し、医師・リハビリテーションスタッフ・看護師が連携して、個別に支援プログラムを立てます。一般的には、治療後48～72時間以内からのリハビリテーションが推奨されており、馬場記念病院では**24時間以内にリハビリテーションを開始**しています。



Column

治療後の回復ステップを確認。3段階で見るケアの流れ

t-PA治療のあと、どのように回復に向かうのかを、3つのステップに分けてご紹介します。

集中管理期 (治療直後～24時間)

- ・ICUまたはSCUでの経過観察
- ・血圧や神経症状のモニタリング
- ・脳出血の有無を画像で確認



早期リハビリ期 (2日目～1週間程度)

- ・状態に応じたリハビリを開始（身体機能・言語機能などの回復支援）



在宅復帰・転院支援期 (1週間～数週間)

- ・ADLの回復支援
- ・ご家族との情報共有
- ・退院後支援のご案内



(2025.3.14)

画像提供：PIXTA

